

## 議会運営委員会会議録

- 1 開会日時 令和5年9月28日（木）午前11時0分
- 2 閉会日時 令和5年9月28日（木）午前11時38分
- 3 会議場所 熊山支所大会議室
- 4 出席委員  
1 番 牛尾 直人君            6 番 光成 良充君            8 番 大口 浩志君  
9 番 治徳 義明君            11 番 金谷 文則君            13 番 福木 京子君  
15 番 下山 哲司君  
17 番 佐藤 武議長
- 5 欠席委員  
な し
- 6 説明のために出席した者  
市 長 友實 武則君            副 市 長 前田 正之君  
教 育 長 坪井 秀樹君            総合政策部長 倉本 貴博君  
総 務 部 長 戸川 邦彦君            教 育 次 長 入矢五和夫君
- 7 事務局職員出席者  
議会事務局長 土井 常男君            副 参 事 野田 順子君
- 8 協議事項 1) 令和5年10月行事予定について  
2) 令和5年12月定例会の会期日程（案）について  
3) その他

午前11時0分 開会

○委員長（下山哲司君） ただいまから議会運営委員会を開会いたします。

初めに、議長より挨拶をお願いいたします。

○議長（佐藤 武君） 委員長。

○委員長（下山哲司君） 佐藤議長。

○議長（佐藤 武君） まずは、9月定例議会で皆さん大変議会運営に御協力をいただきまして、ありがとうございました。何かと行き届かぬこともあったと思いますが、御容赦をいただければと思っております。

なお、本日の協議事項ですけれども、10月の行事予定、さらには12月定例会の会期日程（案）について御協議をいただくと同時に、その他の項目で数点の協議をしていただければと思っておりますので、よろしくをお願いいたします。

以上です。

○委員長（下山哲司君） ありがとうございました。

それでは、これから協議事項に入ります。

協議事項1番目、令和5年10月行事予定について、議会事務局及び執行部から説明をお願いいたします。

○議会事務局長（土井常男君） 委員長。

○委員長（下山哲司君） 土井局長。

○議会事務局長（土井常男君） それでは、資料の令和5年10月議会行事予定（案）、こちらを御覧いただきたいと思っております。

まず、10月2日月曜日15時から吉井川ふれあいパーク運営委員会がございます。

10月3日火曜日10時から柵原吉井特別養護老人ホーム組合議会臨時会がございます。

10月4日水曜日10時から広報広聴委員会広報部会がございます。

10月6日金曜日10時から厚生文教常任委員会視察がございます。

10月10日火曜日8時30分からまちづくり調査特別委員会視察がございます。

10月13日金曜日10時から広報広聴委員会広報部会がございます。

10月16日月曜日14時から総務常任委員会がございます。

10月19日木曜日13時から岡山市議会議長会総会がございます。

10月20日金曜日10時から産業建設常任委員会がございます。

10月23日月曜日13時から和気老人ホーム組合議会、14時から和気北部衛生施設組合議会、15時から和気・赤磐し尿処理施設一部事務組合議会がございます。

10月24日火曜日10時から広報広聴委員会広報部会がございます。

10月25日水曜日から26日木曜日は全国市議会議長会研究フォーラムがございます。

10月30日月曜日、議会運営委員会を予定しておりましたが、こちらを10月27日金曜日10時か

ら議会運営委員会に変更させていただきたいと思ひます。こちらについては、後ほど確認させていただきますので、よろしくお願ひいたします。

次に、10月31日火曜日13時30分から柵原吉井特別養護老人ホーム組合議会、15時30分から柵原、吉井、英田火葬場施設組合議会がござひます。

以上でござひます。

○総合政策部長（倉本貴博君） 委員長。

○委員長（下山哲司君） 倉本総合政策部長。

○総合政策部長（倉本貴博君） 執行部の10月の主な行事予定について御説明をいたします。

市行事予定（案）を御覧ください。

3日火曜日午後、市役所において、赤磐市見守りネットワーク事業に関する協定締結式を行います。市長、副市長が出席いたします。

4日水曜日午前、消防本部において、あかいわ創生会議を開催いたします。三役の出席です。

6日金曜日、山陽ふれあい公園において、赤磐ふれあい共同事業体と岡山シーガルズの連携協定調印式が行われます。市長と教育長が出席いたします。

9日月曜日、同公園におきまして、スポレクフェステ赤磐が開催されます。三役の出席です。

11日水曜日、同じく山陽ふれあい公園におきまして、赤磐市防火協会消火技術大会が開催されます。市長が出席いたします。

12日木曜日、中央図書館において、自主防犯団体の集いを開催いたします。市長、副市長の出席です。

14日土曜日、くまやま水辺の楽校において、赤磐市花火大会が開催されます。市長が出席いたします。

16日月曜日、岡山市内において、農林水産省との意見交換会が行われます。市長が出席いたします。

26日木曜日、中央図書館において、自治連合会の全体会議が開催されます。三役の出席です。

28日土曜日、桜が丘いきいき交流センターにおきまして、文化祭を開催いたします。市長が出席いたします。

10月の主な予定は以上でござひます。

○委員長（下山哲司君） ありがとうございます。

ここでお諮りをさせていただきたいと思ひます。

行事予定では、執行部も議会のほうも10月27日がなかったもんですから、日程の変更、先ほど局長のほうからお伝えしたと思うんですが、市長が100歳訪問があるんですが、それで市長

が欠席していただいても、委員の御了解がいただければ、議会運営委員会を27日に変更させていただきたいと思うんですが、御意見をお願いいたします。

友實市長。

○市長（友實武則君） 誠にすいません。私、27日が公務、内容を言いますと、100歳訪問が2件連続で入ってございます。副市長に代理出席という形でお願いできたらと思います。どうぞよろしくお願い申し上げます。

○委員長（下山哲司君） 委員の皆様、そういうことでよろしいですか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（下山哲司君） それでは、27日ということで決定させていただきます。よろしくお願いいたします。

○議会事務局長（土井常男君） 委員長。

○委員長（下山哲司君） 土井局長。

○議会事務局長（土井常男君） それでは、変更となりましたので、行事予定表の修正したものをまた格納させていただきますので、よろしくお願いいたします。

○委員長（下山哲司君） ありがとうございました。

説明が終わりました。

ただいまの説明について委員さんから何か質疑はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（下山哲司君） なければ、続いて協議事項2番目、令和5年12月議会定例会の会期日程（案）について、議会事務局より説明をお願いいたします。

土井局長。

○議会事務局長（土井常男君） それでは、令和5年11月から12月の議会スケジュール表（案）を御覧ください。

12月定例会を11月28日火曜日に開会する日程を組んでおります。その関係から、1週間前の11月21日火曜日13時30分から議会運営委員会、引き続き14時30分から議会全員協議会の開催となります。一般質問通告の受付は、11月10日金曜日からは始まり、11月16日木曜日を締切りとしています。

12月定例会は、11月28日火曜日が本会議で議案の上程です。初日の11月28日火曜日から11月30日木曜日までが質疑通告の受付期間です。11月30日木曜日、12月1日金曜日、4日月曜日を一般質問とし、5日火曜日を予備日とします。6日水曜日は本会議で、質疑、委員会付託となります。7日木曜日は予備日です。

8日金曜日は厚生文教常任委員会、11日月曜日は産業建設常任委員会、12日火曜日は総務常任委員会となります。13日水曜日は予備日です。14日木曜日は予算常任委員会です。

14日木曜日から19日火曜日までが討論通告の受付期間です。

15日金曜日を予備日とします。最終日を20日水曜日とする案としております。

なお、議会運営委員会は12月27日水曜日に予定しております。

説明は以上です。

○委員長（下山哲司君） 説明が終わりました。

ただいまの説明について委員さんから何か質疑はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（下山哲司君） なければ、続いて協議事項3番目、その他について、執行部から何かありましたら発言をお願いいたします。

執行部がその他何もなければ、委員さんのほうから何かありましたら執行部は退席していただくこととなりますので、執行部のほうからお願いします。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（下山哲司君） 委員さんのほうからありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（下山哲司君） それでは、執行部の方は退席して下さって結構です。ありがとうございました。

それでは、その他について、ICT推進委員会光成委員長から報告があります。

○委員（光成良充君） 委員長。

○委員長（下山哲司君） 光成委員長。

○委員（光成良充君） 前回の議会運営委員会の中でお話をいただきました、タブレットにあります通信機能も持っておりますLINEWORKSの中に、議員でない方のアカウントで入っているという指摘を受けまして、確認をさせていただきました。

調べさせていただいたんですが、議員でないアカウントは出てこなかったもので、事務局の担当者にも確認をしていただき、それからLINEWORKSの中にそういう侵入ができるのかどうかというのも確認をさせていただきました。

結果、赤磐市議会が持っているLINEWORKSの25アカウントは、議員が18名、7つを議会事務局で使っておられます。議員が退職されたんで1個余ったんですけども、それを議会事務局のほうに振り替えています。

よって、議員でない名前では入ってこられないので、今後そういうことがまたもし何かあれば、その辺もう一度調べ直させていただきますけども、今のところ外部からの侵入っていうのが見受けられないということでしたので、御報告をいたします。

○委員長（下山哲司君） ただいまの報告について何か皆さん御意見ございますか。

○委員（金谷文則君） ありがとうございます。

○委員長（下山哲司君） よろしいですか。

○委員（金谷文則君） はい。

○委員長（下山哲司君） その件について、いろいろ話がありましたが、一応そういうことで確認が取れたので、もうこれでおしまいということでもよろしいですか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（下山哲司君） それでは、もうこの議運をもってその件はおしまいということにさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

他にありませんか。

○委員（金谷文則君） 委員長。

○委員長（下山哲司君） 金谷委員。

○委員（金谷文則君） この間の全協のときに、広報広聴委員会のほうから、一応、議会の報告会だったかな、報告会のことについて議論がいろいろ錯綜したのがありまして、そのときに確認だけしとかなきゃいけないのが、議会報告会の報告をしたことについては、基本的には付託を議長からその委員会が受けて、委員会が議長に返して、要するに答申のような形で返して、そこから、議長から報告があったものなのか、ただ全員協議会の中に広聴部会の部会長が独自に報告をされたものなのか、その確認だけしとかなないと、この間大変がたがたしたと思うんです。

1つ、私が思ったのは、付託を受けて任されて、例えば議長のほうへ返して、全員協議会でこういう方向の報告がありましたから皆さんにお伝えしますというようなこの間の話であれば、議長のほうがいろいろその御意見を聞かれて、その意見に対してお答えをしていく、それで答えられない場合は、部会長に例えば確認をして答えてもらうというような手法を取るのが普通だろうと思うんですが、あの中で、何か私が聞き方が悪かったのか、議長のほうが私は知らないかそうじゃないかっていうような何かニュアンスの言葉があったような形で、それでかなり錯綜したんじゃないかなと思うんで、それが付託された部会長からの報告が頭になってやることであれば、正しい議長の話だったと思うんですけど、もしそれが議長のほうへ戻って、議長からの報告であったんなら、議長のほうが受けてもらって、皆さんの意見を聞いた後、もう一遍、例えばその部会のほうへ、こういう意見を皆さん言われてるからもう一度これについて部会で検討してくれないかというふうな投げかけをしてもらえば、この間スムーズに終わったんじゃないかなと思うんで、その辺の確認だけお願いしたいと思います。

○委員長（下山哲司君） 金谷委員、よろしいですか。

私のほうからも一言。

私としてみれば、部会に諮問していただいたから、部会として議長の代わりに報告をしたつもりだったんです。その辺が、私も不手際があったんだと思うんですが、議長に先に言うていただいて、それから細部について私が言えばよかったのを、私も不手際があったと反省もしております。

しかし、一番大事なものは、皆さんに認識していただくにゃいけないのは、議会は議長の下に運

営されているんだという基本を理解してほしいゆえに言うたことでもあるんで。脇道にそれたようなことになって、穏やかな話し合いができなんだんじゃというふうに思うんで、私もその辺も反省はしとんですが、それについて議長のほうからも見解をきちっとしたことを述べていただいてまとめんといけんと思うんで、議長から一つお願いいたします。

○議長（佐藤 武君） 委員長。

○委員長（下山哲司君） 佐藤議長。

○議長（佐藤 武君） 先般の全員協議会の場における議会報告会の諮問について、私も下山部会長から事前にレクチャーを受けておくべきだったなという思いはあります。

そうした中で、全員協議会の中で議論された細かい部分についての説明があつて、私もあの場で初めてお聞きしたようなやり取り、状況だったので、私が知らんと言うたかどうか、はっきり記憶にないんですが、誤解を与えるようなことがあれば御容赦くださいという発言はさせていただいたんですが、そうした中で、慎重に広聴部会では議論を重ねられた結論ということも踏まえて、皆さんにお示しした中で、数人の議員の方から御意見が出たということがありましたので、それを踏まえて、あの場で採決というか、多数決を採るのもいかなと思いましたが、広聴部会の皆さんには申し訳ないんですが、改善できる部分について再度協議をいただければということで、部会長のほうにも協議をお願いしたという状況です。

以上です。

○委員（金谷文則君） 委員長。

○委員長（下山哲司君） 金谷委員。

○委員（金谷文則君） ありがとうございます。

何か、今の話を聞くと、下山部会長からきちっと議長のほうへ報告が上がってなかったというのが一番の問題かなとは思いますが、全員協議会の中で、一応議長が開かれる全協なので、これからはうまいこと調整をしていただいて、それぞれの会議の責任者はおられますので、そこが上手に仕切っていただくように、それぞれがそれぞれで考えていただきたいと思えますので、ぜひよろしくお願ひしたいと思ひます。

○委員長（下山哲司君） 事務局にお願ひしとかにゃいけんのですが、常任委員会以外の委員会については、終わった後の内容については、議事録できたらそのまま議長のほうへ回してもらおうようにしてもらえとんだと私は思つたんです。じゃから、その辺は、事務局のほうからきちっと今後手落ちのないように議長のほうに報告を入れていただくというのが、常任委員会の場合はいいいんですよ、期間を持っていろいろやってやるんですからいいですけど、それ以外の委員会については、それぞれイレギュラーなことがあったことがあるんで、議長のほうには全て報告を入れといていただくというふうに今後心がけていただく。皆さん、そういう考え方でよろしいですか、それが間違いのない基だと思ひんで。

○委員（金谷文則君） 委員長。

○委員長（下山哲司君） 金谷委員。

○委員（金谷文則君） 皆さん御承知だと思うんですけど、それぞれの委員会が終わった後に、最後に一言、そのように議長のほうに報告をしますということになっておりますので、直接多分そういうことを文言で読み上げたと思うんですが、直接委員長から議長のほうへ口頭でお話をしとることはほとんどないかと思うんで、それはあと、議事録の中の書面のほうを議長のほうに出していただいて、議長がそれで確認をしていただく、結果としては事務局のほうから議長のほうへ出していただくと、書面がないと、正式な委員会での言葉と違いますので、議事録の中から正式なものを議長のほうに出していただくと、それはほかの常任委員会じゃなくても、特別委員会であっても同じような形で進めていくということを再度確認をいただければ、議長のほうも知らなかったという恥をかくこともないし、我々の議会としてもきちっと決められた手順を踏んでやっていくということで、もう一遍考え直していただきたいと思いますので、ぜひよろしくをお願いします。

○委員長（下山哲司君） 金谷委員が言われるのがそれが正しいんですが、作業部会の場合は看板だけで運営を今までできております。なので、今後そういうことに心がけるようにするという御理解をいただけてよろしいですか。そういうことで、今後、そういうふうになんか心がけてやるということをお願いして、その件は。

他にありませんか。

○委員（福木京子君） 委員長。

○委員長（下山哲司君） 福木委員。

○委員（福木京子君） 言いづらいんですけど、全協の中で相当の議論があって、しょうがない面があります、けどちょっとカッとして、言葉が行き過ぎたことがあるんじゃないけど、ああいう言葉というのは、議員というのは話し合いというんか、あれは反省していただかなくていいかなと、あまりにもぐさつと、これはいけんのじゃないかなというふうに思いましたので、一応意見を言ってきたと思います。

○委員長（下山哲司君） 私に対してのお言葉だというふうに受け取っておりますが。というのが、そういう問題が起きた事の始まりは、毎回なんですけど、議員があんな流儀でやられて振り回されてきとるから、またかよというのがあるもので、それに、表現が悪いんですけど、他の議員がそれに参加せられたんで、そのいきさつもいろいろ考えていただかんと、私も生身の人間ですから、聖人君子じゃありませんので、その辺も御理解をいただけてこの件は収めたいと思いますが、よろしいか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（下山哲司君） ほかにありませんか。

○議会事務局長（土井常男君） 委員長。

○委員長（下山哲司君） 土井局長。

○議会事務局長（土井常男君） このたびの9月の本会議の資料でタブレットに格納されていた決算書と主要施策成果説明書及び決算関係資料について、見開きページと表記ページに誤差があったことについて操作説明が十分でございました。皆様には、大変御迷惑をおかけしたことをおわび申し上げます。

○委員長（下山哲司君） 以上ですか。

○議会事務局長（土井常男君） はい。

○委員長（下山哲司君） 他にございませんか。

○議長（佐藤 武君） 委員長。

○委員長（下山哲司君） 佐藤議長。

○議長（佐藤 武君） 補足で。

先ほど事務局長からタブレットの操作等についての釈明と申しますか、ありました。そうした中で、今回決算書類ということで、分厚い資料が出たんですけど、それで通しページの誤差であるとか、見開きがなかなか統制ができてなかったという部分がございます。そうしたもろもろの改善をすべき部分がありますので、将来的には決算書それから予算書もペーパーレスという方向でいくのが望ましいというふうには考えておりますので、議会としてもその方向で一致していると思っておりますので、そういう通しページ、見開きの統一した表し方であるとか、そういう改善すべき部分をICTの委員会のほうへお願いをしようかなというふうには、議運の皆さんの了承をいただければ、そういうことで後日の全員協議会で併せてICTの委員会で改善するようにお願いするという報告をさせていただきたいと思っておりますので、よろしくお願ひしたいと思います。

○委員長（下山哲司君） よろしいですか、皆さん。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（下山哲司君） 締める前に一言お話しさせていただきたいのが、うちの議会は議員が議会を訴えたり、一言問題が起きれば、自分が気に入らなんなら、そういうことがあり得る今までの議会だったと思うんです。このメンバーの議会もあと一年半という短い期間なんですけど、付託した委員がやっていただいたことに関しては、報告は私がしたんですが、私がしゃべったことではないので、皆さんがお決めになったことなんで、そういうことに関してはある程度尊重していただいて、その中で言うものの表現で修正があるんなら、皆さんそういう理解にさせていただくと、人がしていただいたことに対して、それはいけんのじゃというような、そういう頭ごなしのやり方というのは、お互いを尊重したという立場にないと思うんです。逆の立場になってみれば同じだと思うんで、そういうことを心得て、今後、議会運営に御協力をいただきたいというふうに、私も不備な点がありましたが、それをおわびして、今後はそういう方向で皆さんに御協力をお願いしたいというふうに思いますので、そういうことでよろしくお願ひしたいと思います。

よろしいでしょうか。

○委員（金谷文則君） 委員長。

○委員長（下山哲司君） 金谷委員。

○委員（金谷文則君） 要らんことかもしれないんですけど、本議会中に、一般質問等の中でそぐわないということを議長も確認しながら同じような発言をさせたというのが今回あったと思うんです。

毎回、質疑等については、一番最初に議長のほうから、一般質問を含めて、簡潔に述べよと、ちゃんと規則の中で、第5条だったか第6条だったかにあるような形のもので皆さんお願いしますということを先に言っときながら、それが黙認されてきてるのがもうずっとのように私は思ってまして、さきの議会改革のところにもそういうことについて一筆書かせてもいただいたんですけども、今回の本会議の中では、またそれが、ささいな形じゃなくて、議長も多分失言をされたんだろうと思うんですけど、違うんだけどみたいな形をたしか言われて進められたと思うんです。そのことについて、本来なら会期中に修正なり、それから削除なり、そういうものをされなきゃいけないと思うんですが、そこら辺のところはされてるのかどうかという確認をしときたいんです。不穏当発言に近いものだろうと思うんで、そのことについてどういうふうにされてるかお聞きをしたいんです。

○議長（佐藤 武君） 委員長。

○委員長（下山哲司君） 佐藤議長。

○議長（佐藤 武君） まず、通告制を採っているということの中で、私が通告以外の質問じゃないですかという投げかけをして、そのまま発言を許可してしまったような状況がありましたことは、私が毅然とした態度を取らなかったという部分で私のミスだというふうに思います。

その通告外の発言部分については、発言議員それから答弁者についても、本人の了解をいただいて、議事録を削除するということで了解はいただいております。不穏当部分の発言、ほかにも数名いらっしゃったんですが、その部分についても、本人確認の上、取消しを了解をいただいて、議事録から削除するという話をさせていただいております。

それから、質疑、質問の仕分と申しますか、通告部分について、あるいはそれに関連する部分ということで、非常に仕切りが難しい部分があつて、質問を聞いている最中はこれは関連じゃない、通告じゃないと思いながら、それでも話を聞いて文章を見てみたら、結構通告に絡んでる部分もあつたりするんで、なかなかその場で判断が難しいんですけども、極力通告外という部分については、私もその場でストップをかけたいなというふうに思っております。質疑につきましても、自身の意見を述べてはいけないということがあるんですけども、同じようにこの部分については許される許容範囲かなという思いで、その場での判断がなかなかできなかったということがありますので、今後については極力厳しい対応に皆さんなるかなという、あまり発

言を制限するのめいがかかなという思いがありますので、ただそれはそれとして、厳しく議長として議事整理権に基づいて対応していきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

以上です。

○委員（金谷文則君） 委員長。

○委員長（下山哲司君） 金谷委員。

○委員（金谷文則君） 議長も大変だと思うんで、私も議長経験者として議会運営の中で思ったのは、不穏当であつたり、それから疑問があるようなときは、はっきり言って議長の権限ですので止められればいいと思うんです。一回止められて、どういう趣旨でどういうふうに発言をされようとしたんですかというのを確認されて、それが本来のものでなければ、議長としてはそれを発言させないというようなことをはっきり言えばいいと思いますので、遠慮なく分からなければ止めて、それで正常な議会運営になるようにしていただければ何の問題もないと思いますし、もう一つ、事務局長にはお願いをしたいのは、そのサポートをしっかり、隣におられるわけですから、してあげないと、議長も立場があります。議会の中の代表者として、不細工な形で、ネットで中継してるわけで、恥ずかしい我々の代表者を世界中に知らせたくはない、赤磐市の議会として知らせたくないんで、ぜひ事務局長にもそのサポートをお願いしたい。それから、そばにおける書記係のほうも、もし気がついたら、事務局長のほうへちょっと合図でもしてあげて、儀式というような言い方をしたら悪いですけど、議会は尊重されるべき、それから人から見られて恥ずかしくないような議会運営が好ましいと思うんで、そこら辺はみんな協力するなり、それから議会運営委員長がおられるわけですから、もしそこがいかないようであれば、議長のほうへ手を挙げてでもちょっと止めるような御意見を言っていたきたいなというふうに感じますので、ぜひお取上げいただきたいと思います。

○委員（治徳義明君） 委員長。

○委員長（下山哲司君） 治徳委員。

○委員（治徳義明君） 今のお話をお聞きしまして、通告外質問が多過ぎるということは、非常になかなか判断が難しい、金谷委員はきっちり止めてきちっとやっていくべきだろうと、こういうふうなお話になったんですけど、通告の中に2種類ありまして、項目と趣旨とこの2つがありまして、恐らくここをきちっと議員に明確にしないから分からなくなるんだと思う。例を言いますと、防災・減災対策についてという項目がありました。それで……。

○委員長（下山哲司君） それは一般質問ですか。

○委員（治徳義明君） 一般質問の話です。

趣旨……。

○委員長（下山哲司君） 一般質問は問題になりません、何をしゃべっても結構ですから。

○委員（治徳義明君） いやいや、通告外の質問が問題じゃと、こういうて皆さん言われるん

で、そしたら趣旨がありまして、趣旨と項目があつて、その趣旨にも制限がかかるんだつたら制限がかかると、こういうことを明確に言うとかないと、項目でやってしまう、関連させてしまうということがあるんで、その辺を検討していただければと、こういうふうに思ってます。

○委員（金谷文則君） 委員長。

○委員長（下山哲司君） 金谷委員。

○委員（金谷文則君） 今のことについては、細かい中の話なんですけど、基本的には議長のほうがこの議会の本会議の中の運営をするので、議長がそこでおかしいなと思ったら止めたり、それから注意をしたりすりゃいいんであって、今の中身の書き方とか考え方っていうのは、これはまた別の機会で、全協なら全協の席で、今の治徳委員が言われたようなこともみんなでも検討しようやということで、もう一度検討するという形にされたほうが、この場でそれを決めるということはなかなかできないようなものだと思いますんで、そうされてはいかがでしょうか。

○委員長（下山哲司君） 今、治徳委員が言われたのは、一般質問においては執行部側が通告がないと思う時点でないんです。じゃから、ないものは答えなくていいようになってんす。じゃから、それはこっちが決めることじゃなしに、向こうの執行部側が決めることなんで、そういう考え方は、それと一番問題なのは、一般質問と議案質疑とが混ぜこぜになったようなことをせられる人が多々あるから、それが一番問題なんです。じゃから、その辺は、また今度皆さんで全協の席で勉強会をすとか、議長の下で研修会をしていただくとか、講師を呼んで、そういうふうにせんとおえんで、そういう方向で、議長、今日のところはよろしいですか。研修をしていただくというような考え方で。

○議長（佐藤 武君） はい。

○委員長（下山哲司君） それじゃあ、そういうことをお願いしといてこの件はしまいたいと思いますが、よろしいですか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（下山哲司君） それでは、議長、そういうことで研修をまたひとつやっていただきたいと思いますので。

他にございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（下山哲司君） なければ、以上をもちまして議会運営委員会を閉会したいと思います。

午前11時38分 閉会